

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成25年11月27日)

項 目		ページ
1 第4回中海会議の概要について	【農地・水保全課】	1
2 社会福祉法人やずに係る緑の産業再生プロジェクト事業の 検証結果について	【県産材・林産振興課】	別紙
3 とうほくとっとり・森の里親プロジェクトに係る「苗木 の里帰り」について	【森林づくり推進課】	2
4 第2回湖山池会議の概要について	【水産課】	4
5 水産物鮮度保持・加工施設整備事業について	【水産課】	5
6 ズワイガニ漁の解禁と今漁期の見通しについて	【水産試験場】	6
7 首都圏における鳥取県・秋田県共同ハタハタPRの実施 について	【食のみやこ推進課】	7

農 林 水 産 部

第4回中海会議の概要について

平成25年11月27日
企 画 課
水・大気環境課
農地・水保全課
河 川 課

平成25年11月19日に開催した「中海会議」の第4回会議の概要は、次のとおりです。

- 1 日 時 平成25年11月19日(火) 午後2時30分～4時30分
- 2 場 所 ホテル白鳥(松江市)
- 3 構 成 員 国土交通省中国地方整備局長、農林水産省中国四国農政局長、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市長、松江市長、安来市長
＜オブザーバー＞ 環境省(中国四国地方環境事務所長)、防衛省(美保基地装備部長)

4 概 要

(1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

- 部会「中海湖岸堤等整備に係る調整会議」(事務局：中国地方整備局出雲河川事務所)から、中海湖岸堤整備事業の進捗状況等について報告があり、意見交換を行った。
- 斐伊川水系河川整備における治水対策3点セットのうち、ダム(志津見、尾原)、斐伊川放水路の2点が完成したが、下流の大橋川改修及び中海湖岸堤整備は、大橋川拡幅の前に中海湖岸堤を先行するという整備手順について、改めて国土交通省中国地方整備局に確認を行った。
 - ・短期整備箇所(西工業団地貯木場、旗ヶ崎、米子港)は、今年度内の工事着手に向け取り組む。
 - ・短中期整備箇所は、大橋川下流拡幅箇所が完了するまでに前倒して整備していく。
 - ・中期整備箇所は、大橋川上流拡幅箇所が完了するまでに前倒して整備していく。

(2) 中海の水質及び流動について

- 部会「中海の水質及び流動会議」(事務局：島根県環境政策課)から、水質測定結果や水質改善のための取組みの報告を行い、今後も対策を進めることとした。

[主な報告]

- ・水質測定結果として、COD(化学的酸素要求量)、全窒素、全りんいずれの項目も環境基準を達成していない。
- ・最高地点では、長期的にはCODはおおむね横ばい傾向、全窒素、全りんは低下傾向である。ここ数年は、COD、全窒素は横ばい、全りんはやや上昇傾向である。
- ・平成24年度水質測定結果は、宍道湖からのアオコ流入の影響が見られた。
- ・これまでの米子湾流動調査、底質調査、流入負荷量調査等の検証・分析を行い、今後も関係機関と連携し、具体的な水質浄化対策の検討を進める。

[主な意見]

- ・米子湾に限らず、中海全体の水質改善につながる対策を期待する。
- ・両県が連携して実施している海藻刈り事業を来年度以降も継続することを要望する。
- ・サルボウガイの養殖に適した底質環境を目指すための調査を期待する。
- ・各種調査を分析し、水質改善に向けた戦略的・一般的な対策を講じる必要がある。

(3) 中海沿岸農地の排水不良について

- 「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」(事務局：米子市農林課)から、排水不良農地(米子市崎津内)の工事残土を活用して客土を行ったモデル事業の進捗状況等について報告があり、今後も、排水不良農地に効果的な対策を検討していくことを確認した。

(4) 中海の利活用について

- 「中海の利活用に関するワーキンググループ」(事務局：鳥取県未来づくり推進局)から、利活用策として検討したアイデア(中海産食材を使ったメニューのPR、中海周遊サイクリングコースの設定、EVカーでのエコツアー推進等)について報告があった。EVカーに必須となる急速充電器の設置など若干両県の普及具合が異なっている部分もあるので、民間も含め関係機関と連携を図りながら、両県で歩調を合わせて取組を進めていくこととした。
- 鳥取県水産試験場から中国地方整備局が造成を進める浅場を活用し、平成24年度～3年間の計画で行っている水産資源(マハゼ)の回復調査について状況報告が行われた。

(参考) 中海会議とは 平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」の趣旨に鑑み、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置(H22.4.22)した会議。

とうほくとっとり・森の里親プロジェクトに係る「苗木の里帰り」について

平成25年11月27日
森林づくり推進課

本県では、第64回全国植樹祭の開催を機に、東日本大震災により被災した東北3県（岩手県、宮城県、福島県）の海岸防災林等の再生を支援するため、3県から種子を預かり、本県で大切に育て、苗木としてお返しする「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」に取り組んでいます。

この度、県内で育てた苗木のうち、600本を3県（各県200本）に届け、平井知事と小学生の美鳥の大使が関係者ととともに植樹を行いました。

今後も引き続き、このプロジェクトを実施することにより、被災地の方への励ましと支援の輪の拡大を図ることとしています。

1 岩手県（平成25年度復興祈念植樹祭）

- (1) 日 時 11月1日（金）午後2時30分から
- (2) 場 所 岩手県陸前高田市広田地内「大森山」
- (3) 主催者 岩手県、陸前高田市、（公社）岩手県緑化推進委員会 ほか
- (4) 出席者
＜岩手県＞竹田岩手県農林水産部林務担当技監、山田陸前高田市教育長、陸前高田市立広田小学校みどりの少年団 ほか
＜鳥取県＞嶋沢森林・林業振興局長、美鳥の大使（車尾小学校）4名 ほか

2 福島県（第11回うつくしま育樹祭）

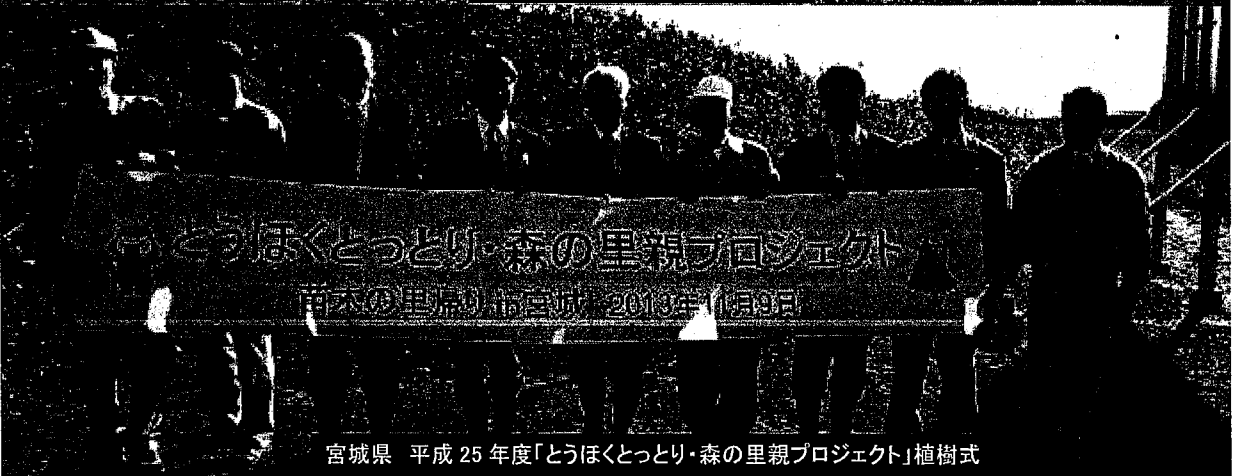
- (1) 日 時 11月9日（土）午前10時20分から
- (2) 場 所 福島県須賀川市「ムシテックワールド」
- (3) 主催者 うつくしま育樹祭実行委員会
- (4) 出席者
＜福島県＞佐藤知事（大会会長）、西山福島県議会農林水産委員長、会津若松市立川南小学校みどりの少年団、（社福）常真会田島保育園園児、須賀川市立大森小学校みどりの少年団 ほか
＜鳥取県＞平井知事、美鳥の大使（丹比小学校、八橋小学校）8名 ほか

3 宮城県（平成25年度「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」植樹式）

- (1) 日 時 11月9日（土）午後1時20分から
- (2) 場 所 宮城県岩沼市「千年希望の丘」
- (3) 主催者 宮城県（協力：鳥取県、岩沼市、宮城県農林種苗農業協同組合）
- (4) 出席者
＜宮城県＞若生副知事、井口岩沼市長、宮城県農林種苗農業協同組合大田組合長 ほか
＜鳥取県＞平井知事、嶋沢森林・林業振興局長 ほか

4 宮城県（平成25年度「みやぎバットの森」及び「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」植樹祭）

- (1) 日 等 11月10日（日）午前10時30分から
- (2) 場 所 宮城県女川町「みやぎバットの森」
- (3) 主催者 宮城県、女川町、（公社）宮城県緑化推進委員会
- (4) 出席者
＜宮城県＞青木宮城県環境生活部次長、須田女川町長、河野（公社）宮城県緑化推進委員会常務理事、宮城県登米市立米川小学校みどりの少年団、楽天野球団井上ジュニアコーチ、仙台トヨペット（株）清野広報企画課次長、イオン石巻店石飛次長 ほか
＜鳥取県＞嶋沢森林・林業振興局長、美鳥の大使（丹比小学校、八橋小学校）8名 ほか



第2回 湖山池会議の概要について

平成25年11月27日
水・大気環境課、水産課、河川課

- 第1回（平成25年6月開催）では、濁水等による塩分濃度の上昇や、産卵期を迎えたフナ等の大量斃死等へ関係者が機動的に対応を図ることを確認したところ。
- 第2回の今回は、現況の塩分濃度や水門操作の状況、9月議会の補正予算で承認された「水質監視システムの強化、水門改修のあり方検討」等の進捗状況、貧酸素リスクの少ない今秋から来春までの塩分濃度の引下げの取組み等についての関係者間の情報共有と対応について確認した。
- 次回は12月に開催予定であり、塩分管理等の進捗等を確認する予定である。

◇第2回湖山池会議（平成25年11月11日（月）開催 県：統轄監・市：副市長出席）

1 塩分濃度等の状況

- ・11/08（会議提示）塩分濃度 5,600mg/L（8月ピーク 8,600 mg/L、将来ビジョン目標 2,000～5,000mg/L）
→ 11/17 時点 さらに 5,200mg/L に低下
- ・10/18 時点で底層部の塩分躍層（＝高濃度塩分の水塊）の解消を確認。
（昨年比で解消が早く、攪拌による今後の塩分濃度上昇の懸念が回避されている。）

2 水門操作の状況

- ・塩分濃度と溶存酸素(DO)の状況を監視しながら、逆流時の水門操作を段階的に実施してきたが、貧酸素の懸念が少ない季節となり、10/23 からは水位差が大きい（10cm 超）場合、船通水門を川底から 20 cm だけ開く（部分開）操作として、海水の逆流を抑制している。
（DOは 8 mg/L 程度で安定して推移している。）

3 酸素供給装置の効果検証

- ・8/12 から貧酸素を回避して生物の生息環境を確保するため、湖内（鳥大附属小西側へ 500m 程度の水域）及び湖山川内へ設置した酸素供給装置の効果を検証した。
- ・湖内では、装置近傍（約 15m 範囲内）の局所的な範囲に限定されたものの、DO 上昇、底質改善が確認できた。湖山川内においても DO 等は良好に維持できた。

4 池周辺地域への現状説明会の実施結果

- ・8/30～10/31 にかけて、6 地区（湖南、末恒、賀露、湖山、湖山西、松保）の自治会等延べ 114 名に対して、塩分濃度、水門操作、魚斃死及び潮風害の対策等の説明と意見交換を実施した。
- ・説明会では、参加された住民の多くから、塩分濃度 2,000～5,000mg/L を確実に管理できる仕組みや対策を実施するよう意見があり、来春にかけて塩分濃度引き下げに取り組むことを説明した。

5 9月補正予算の取組み

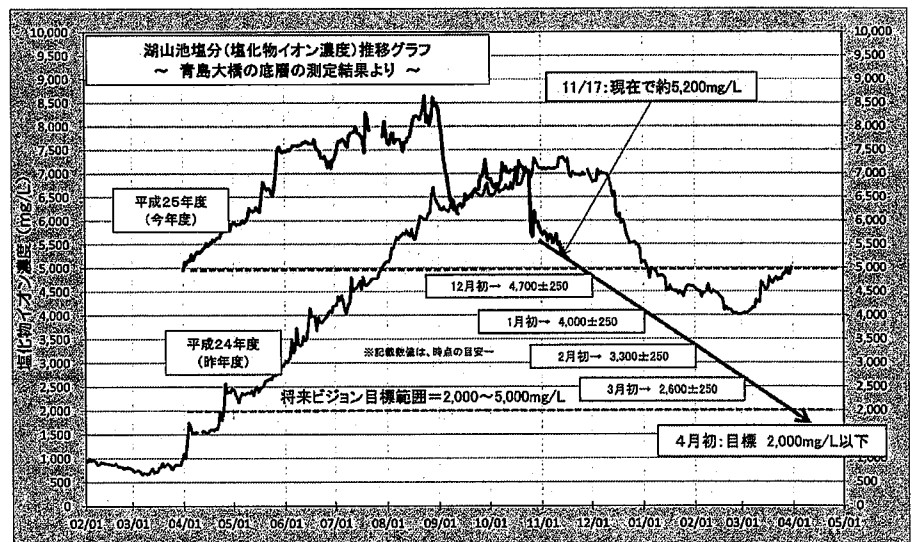
- ・①水質監視システムを新たに4箇所（水門の上流域、下流域、湖心又は最深部、高住の沖を想定）に設置すること、②船通水門に改良（穴をあける）を施し、塩分の低い水を通水させること、③水門のあり方を検討するため水質等シミュレーションを行い最適な方策を検討すること、④魚類の生息環境改善のため河川に魚道を整備すること、⑤潮風害の対策を講じること等について、事業の進捗状況及び住民説明の状況等を確認した。

6 今後の塩分管理など

- ・来年4月初めには、塩分濃度 2,000 mg/L 以下とすることを目標とし、今後も水門による絞り込みの取組みを行っていくことを確認した。（右図）

7 湖山池アダプトプログラム

- ・ボランティアによる湖山池の環境保全活動を行う「湖山池アダプトプログラム実行委員会」が組織され、10/04 から青島 13 エリア、高住 8 エリアのアダプト参加者の募集を開始しているところ。



水産物鮮度保持・加工施設整備事業について

平成25年11月27日
水産課

国の緊急経済対策補正を受け、平成24年度2月補正で予算化した「水産物鮮度保持・加工施設整備事業」で整備を予定していた山陰旋網漁業協同組合の一次加工施設については中止となり、鳥取県漁業協同組合の冷凍冷蔵庫及び一次加工施設については計画変更することとなった。

1 水産物鮮度保持・加工施設整備事業の概要

事業概要	本県における強い水産業づくりを推進するため、漁協が実施する水産加工・流通施設の整備に対して国の緊急経済対策補正を活用し支援を行う。
予算額	420,000千円
財源	水産庁「強い水産業づくり交付金」事業（平成24年度補正）
負担率	国1/2（間接補助）、事業主体1/2
事業内容	<p>(1) 事業主体：山陰旋網漁業協同組合 事業内容：一次加工施設の整備（境港市） 事業費：500,000千円 補助額：250,000千円</p> <p>(2) 事業主体：鳥取県漁業協同組合 事業内容：冷凍冷蔵庫（1,500t）及び一次加工施設の整備（鳥取市） 事業費：340,000千円 補助額：170,000千円</p>

2 施設整備計画の中止及び変更の理由

(1) 山陰旋網漁業協同組合

既存の原魚保管施設の躯体を残して一次加工施設に改築する予定であったが、設計業者が現有施設の躯体の耐久性調査を行ったところ老朽化が著しく、改築による施設整備は困難との診断結果から、今回の施設整備は見送られた。

(2) 鳥取県漁業協同組合

鳥取港西浜地区（賀露地区）に冷凍冷蔵庫及び一次加工施設の整備を行う予定であったが、漁協内部で今後の水揚げ見通しや冷凍冷蔵庫等の活用見通しを踏まえた収支見通し等について、改めて検討を行うこととなったこと、また、浜の活力再生が喫緊の課題となっている岩美町で水産振興対策が急がれることから、網代漁港の活魚施設等で利用する殺菌海水装置を併用した井戸海水供給施設の整備を先行して実施することとなった（水産庁了解済）。

3 事業内容の変更について

事業主体	鳥取県漁業協同組合
事業目的	夏季における活魚の斃死及び衰弱を低減し、新たな活魚出荷（活イカ、殺菌処理イワガキ）の導入により水揚金額の向上を図るとともに、安全・安心面でのイメージアップを目指す。
事業内容	<p>殺菌海水装置を併用した井戸海水供給施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 井戸海水供給施設（揚水量及び送水量200リットル/分） 保温式10トン型貯水槽 殺菌海水装置（流量27トン/時）
事業費	31,860千円
補助額	15,930千円

4 不用額 404,070千円

ズワイガニ漁の解禁と今漁期の見通しについて

平成25年11月27日

水産試験場

(ズワイガニ漁の解禁)

平成25年度のズワイガニ漁期等の自主的な規制（解禁期間）は、以下のとおりである。

- 松葉がに : 11月6日～3月20日（変更なし）
- 若松葉 : 1月20日～2月28日（終期を10日短縮）
- 親がに(雌) : 11月6日～12月31日（終期を10日短縮）

(今漁期の見通し)

解禁直後（鳥取沖・隠岐北西沖・出雲沖）

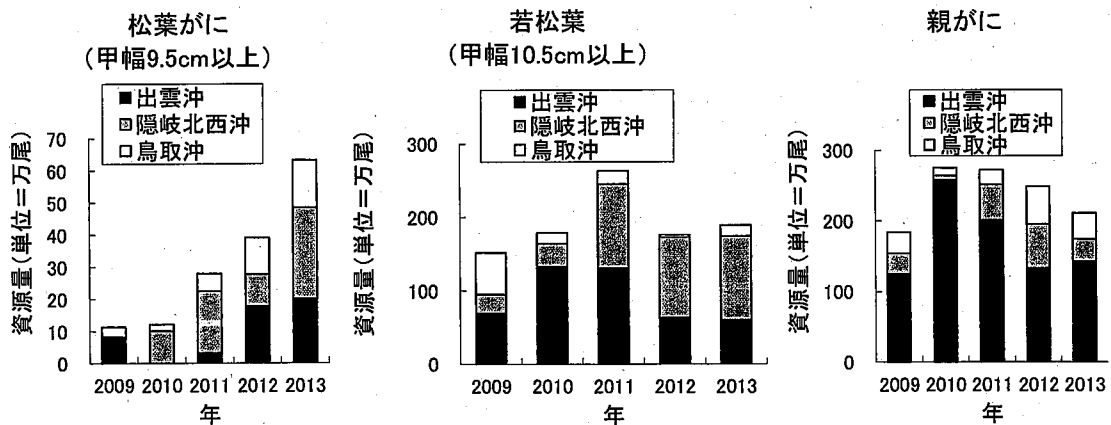
- 松葉がに : 小～中型主体であるが、大型の漁獲もやや見込まれ前年並みとなる。
 - 若松葉 : 前年並みとなる。
 - 親がに(雌) : 前年並み又はやや下回る。
- 漁期全般：漁獲量は平年並みとなる。

<根拠となった第一鳥取丸による調査結果>

漁期直前の10月に鳥取～島根県沖合水深181～446mの海域において、合計27点で着底トロールによる漁期前調査を行った。

- 1 松葉がに：隠岐北西沖の資源状況が良く、甲幅10～12cm台の小～中型個体を主体に13cm以上の大型個体も漁獲された。（図1左）
- 2 若松葉：全体では微増しているものの、これまで主漁場であった出雲沖では横ばい傾向にあり、甲幅10～12cm台の小～中型個体が主体となった。（図1中央）
- 3 親がに：隠岐北西沖を中心に前年よりも減少しており、甲幅7～8cm台の小～中型個体が主体となった。（図1右）

図1 年別海域別の資源尾数



4 漁期全般

調査結果からは、小中型個体を主体に近年少なかった大型松葉がにの漁獲も多少見込まれることが予想される。しかし、長期的な漁獲量の変動と広域の試験調査結果を考慮すると大幅な資源回復は期待できないこと、また若松葉と親がにの漁期が10日間短縮されることから、漁期全般の漁獲量（重量換算値）は平年並みとなる可能性が高い。

表1 調査海域におけるズワイガニの資源尾数（単位=万尾）

区分	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	前年比
松葉がに（甲幅9.5cm以上）	4	11	28	28	39	63	162%
若松葉（甲幅10.5cm以上）	166	152	179	263	176	189	108%
親がに	191	184	272	272	249	211	85%

首都圏における鳥取県・秋田県共同ハタハタPRの実施について

平成25年11月27日

食のみやこ推進課

東京本部

ハタハタの認知度向上のため、東日本の主産地である秋田県と西日本の主産地である鳥取県が連携し、両県合同で都内でのPRイベントや飲食店フェアを開催します。

1 第3回 秋田・鳥取 うまいぞ！ハタハタフェスティバル（共同PRイベント）

(1) 日時：11月30日（土）午前9時30分～午後4時

12月1日（日）午前9時30分～午後3時

(2) 会場：築地本願寺前広場（中央区築地3-15-1）

(3) 主催：鳥取県、秋田県

(4) 内容

- ・両県ハタハタ自慢比べ（本県はさかなクン[山陰海岸学習館ギョギョバイザー]が応援団として出演）
- ・ハタ-1グランプリ[各出展者のハタハタ料理を競うコンテスト]の開催
（本県はとろはた蒲焼き丼ひつまぶし風、とろはたのホイル焼き、ハタ寿司、一夜干し焼き等を出展）
- ・両県特産品の販売（本県は東京アンテナショップ、地場産プラザわったいな、米子いただきがいな隊等が出展）
- ・両県伝統芸能の披露（本県は因幡の傘踊りを披露）
- ・両県ハタハタの展示
- ・鳥取県PRブース（県観光PR等、境港市役所は別途でPRブースを出展） など

(5) その他

- ・東京メトロの協力により、築地駅とその周辺駅にポスターを掲示予定

2 築地市場周辺飲食店等でのハタハタ料理の提供（共同飲食店フェア）

(1) 期間：11月1日（金）～12月下旬予定

(2) 内容：築地市場周辺飲食店8店舗及び両県ゆかりの店における両県のハタハタを使った料理フェアの開催

〈両県ハタハタが食べられる店舗（8店舗）〉

- ・鮪國（築地4-14-15-1F）
- ・千秋 はなれ（築地4-7-5-B1F）
- ・千秋 本店（築地4-7-5-1F）
- ・とんかつ八千代（築地5-2-1-6号館）
- ・日本料理 紫水（築地3-15-1）
- ・北海番屋（築地4-14-16）
- ・Re-fish 食堂（築地4-16-2）
- ・若葉2号店（旬の海鮮丼）（築地4-9-5）

〈メニュー〉

- ハタハタの刺身、一夜干しのあぶり料理
- ハタハタ丸鍋、開きの揚げ出し、一夜干しの酒蒸し
- ハタハタの唐揚げ
- ハタハタのフライ定食
- ハタハタ定食
- ハタハター一夜干の網焼き
- ハタハタの湯煮、唐揚げ
- ハタハタ食べ比べ丼

〈鳥取県のハタハタが食べられる店舗（18店舗）〉

- ・稲田屋[いなたや]（日本橋店他首都圏5店舗）
- ・炉端かば（新宿西口本店他首都圏8店舗）
- ・季節料理 さん昇[さんしょう]
- ・居酒屋わったいな
- ・鳥取県東京アンテナショップレストラン トットリーネ

〈メニュー〉

- とろはた一夜干し焼き等
- ハタハタ煮付け等（店舗毎に異なる）
- 割鮮盛り合わせ
- ハタハタ刺身等（仕入れたものによって異なる）
- とろはた一夜干しのグリル

〈秋田県のハタハタが食べられる店舗（30店舗）〉

- ・秋田県アンテナショップ あきた美彩館他29店舗

3 築地地区との新たな連携

昨年度から築地本願寺前広場でイベントを実施しているが、築地場外市場商店街振興組合やNPO法人築地食のまちづくり協議会等とのつながりができ、この度の築地市場周辺飲食店舗での飲食店フェア開催につながった。

4 参考

第3回 秋田・鳥取 うまいぞ！ハタハタフェスティバル チラシ（別添資料）

